

青柳有美 アヲリ 評論家。明治八年九月二十七日秋田縣生れ。昭和一

十年七月十日歿（二七三一九歳）。本名猛 マウ。筆名やゆき、ゆうび、善魔

の子、善魔の子有美、嗜美、悪魔の子有美、有美、有美堂主人、有美

狂生、有美狂生、無草庵有美、猛、猛狂生、美、青柳生、Y、A、生

等。同志社普通學校卒。明治女學校教員を経て、明治二十六年「女學

雜誌」主幹。のち實業之世界社に編輯に從事。昭和十一年寶塚音楽歌

劇學校囑託。

著書「有美良」(明治二十四年十一月、二十日文明堂)、可現代百人象

・第壹編可(合著・新聲社編、明治二十五年四月八日新聲社)、可善

魔折學可(明治二十五年六月一日文明堂)、可有美逸可(明治二十九

年十一月二十日丸山舎書籍部)、可女學生生理可(明治四十一年六月

二十日丸山舎書籍部)、可秋田みやげ文名蹟々可(編、明治四十一年八月

八日秋田・大島商會)、可性慾折學可(大正二年一月二十八日東亞堂

書房)、可有美式可(大正二年十一月十一日實業之世界社)、可不老

不死可(大正四年四月二十三日實業之世界社)、可美と女可(大正

四年五月一日實業之世界社)、可女の裏おとこ可(大正五年二月二十

日昇山堂出版部)、可男女和合の秘訣可(大正五年九月二十八日實業

之世界社)、可萬龍未來記可(合著・野元北馬編、大正五年十一月一

日須原啓興社)、可新世の中可(大正七年四月十五日弘學館書店・阪

大正堂書店)、可好色家列傳可(大正十年十月八日漱文堂・阪文館

堂)、可ペンゴロ双紙可(大正十二年二月十五日兵庫・寶塚少女歌劇

團出版部「寶塚叢書」)、可戀愛讀本可(大正十五年八月五日「松堂

書店)、可性慾讀本可(大正十五年十月二十日「松堂書店」)、可七身

出世の早道 (千四版) 『昭和三年六月一日』 自志大學生部 (等)。